

第12回 白馬村地域公共交通会議議事録

1. 開催日 平成24年2月17日(金) 13時00分～13時35分
2. 場所 白馬村保健福祉ふれあいセンター会議室
3. 出席者 太田委員、小林透委員(代理)、長澤委員(代理)、有賀委員(代理)、宮澤委員、勝野委員、松沢委員、風間委員、速水委員、渡邊委員、高橋委員(代理)、海端委員、倉科委員、横川委員、篠崎委員
4. 事務局 太田総務課長、矢口総務課企画調査係長
5. 関係職員 吉田住民福祉係長、鈴木住民福祉課主査、山岸観光農政課観光特産係長、柏原観光局派遣主査
6. 配布資料
 - 資料1 : 白馬村地域公共交通検討委員会(乗合タクシー)の開催状況について
 - 資料2-1 : デマンド型乗合タクシー事業利用者アンケート報告書
 - 資料2-2 : デマンド型乗合タクシー事業未利用者アンケート報告書
 - 資料3-1 : 乗合タクシー(デマンド型)運行計画(案)
 - 資料3-2 : 乗合タクシー(保育園児送迎)運行計画(案)
 - 当日配布資料 : 出席者名簿
 - 参考資料 : ナイトシャトルバス「元気号」利用実績

1. 開会

(事務局)

大変お待たせいたしました。定刻になりましたので、ただ今から「第12回白馬村地域公共交通会議」を開催させていただきます。

はじめに開会のことばを、風間副会長さんから申し上げます。

(風間副会長)

皆さんこんにちは。冬季シーズンのお忙しい中、また大変お寒い中をご参集いただきましてありがとうございます。

それではただ今から、第12回白馬村地域公共交通会議を開会致します。よろしくお願い致します。

2. 会長あいさつ

(事務局)

続きまして、会長あいさつということで、太田村長の方からごあいさつを申し上げます。

(会長)

皆様こんにちは。本日はそれぞれお忙しい中を、第12回白馬村地域公共交通会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

今年の冬につきましては、当初雪不足によるスキー場への影響が懸念されましたが、蓋をあけてみると、1月下旬から降り続いた大雪の影響により、日本海側を中心に大きな被害も出ている地域もあるようでありまして、被災された地域の皆様には心よりお見舞いを申し上げ

げる次第でございます。幸い本村では、大雪による村民生活への大きな影響は出ておりませんで、順調な積雪によりシーズン終盤まで各スキー場が賑わってくれることを念じているところでもあります。

一方で、この冬のナイトシャトルバス事業につきましては、原発事故の影響が響き、特に外国人観光客の入り込みが減少したことから、1月末までの利用者実績で、前年比14%の減少となっております。また、終盤の巻き返しを期待しているところであります。また、デマンドタクシー事業は、前年比7%あまりの増加となっております。こちらの方は村民にも大分定着してきたのかな、という感を持っております。詳細につきましては、利用者アンケートの結果も含めまして、このあと担当委員から報告がございます。

さて、本地域公共交通会議につきましては、これまで3年にわたり委員の皆様から、ご意見・ご提言をいただきながら、デマンドタクシー及びナイトシャトルバスの実証運行事業を進めてまいりました。改めまして委員の皆様のご協力に対し感謝申し上げますとともに、4月からの本格運行につきましても、引き続き皆様方の御支援をお願い申し上げる次第であります。本日は、4月からのデマンドタクシーの運行計画案を主題といたしまして、協議をお願いしているところでございます。慎重なるご審議をお願い申し上げます。冒頭のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

3. 報告事項

(事務局)

申し遅れましたが、本日進行を務めさせていただきます、白馬村役場総務課の矢口と申します。よろしくお願い致します。

まず、本日配布させていただきました「出席者名簿」をご覧ください。本日の出席委員並びに代理出席の方につきましては、こちらの名簿のとおりご報告させていただきますので、よろしくお願い致します。一部アルプス第一交通(株)の原田さんから出席の報告をいただいておりますが、まだおみえではないようですけれども、議事の方は進めさせていただきたいと思っております。

それではここで、次第に従いまして報告事項に入らせていただきます。まず、デマンド型乗合タクシー事業の実証運行状況及びアンケートの結果等につきまして、担当委員から説明をお願いします。

(倉科委員)

白馬村役場住民福祉課の倉科と申します。よろしくお願い致します。私の方からは先月に開催しました公共交通検討委員会の開催状況、昨年の10月に行いました利用者アンケート、同じく12月に行いました乗合タクシーに登録されていない方を対象としたアンケートの結果について報告致します。

資料1ページをお開きください。デマンド型乗合タクシー実証運行事業平成23年度利用者アンケート報告書でございます。平成23年4月1日から9月16日までに乗合タクシーを利用した220人の方に対して10項目を5段階で評価いただいたもので、昨年のアンケート調査とほぼ同じ内容で調査を行っております。調査については9月22日から10月7日までの間に郵送で回収し、回収率62.7%でした。なお、このアンケートについては平

成20年度から毎年実施し、今年度で4回目となります。

資料2ページをご覧ください。ここでは回答者の属性を集計してありますので、後ほどご覧いただきたいと思ひます。

3ページをご覧ください。このページからはそれぞれの項目につきまして、その評価を集計してあります。なお、今までに実施した調査と同じ内容ですので、グラフを並列標記して比較できるようにしてあります。まず3ページの予約時間についてであります。出発時刻の30分前までの予約については、大変良い・良いを合わせると66.6%です。昨年の54.8%から11.8ポイント上昇してあり、満足度は高いと考えてあります。

4ページをご覧ください。運行日についてであります。大変良い・良いを合わせると41.3%で、昨年度より微減となっております。土日曜日・祝日の運行要望が強いというところからではないかと思ひてあります。大変良い・良い・普通の3項目を合わせても65.2%で今回の調査中最も満足度の低い項目であります。運行日については皆様のご意見をいただきたいと思ひます。

5ページをご覧ください。始発便の出発時刻です。今年度調査でも大変良い・良いで70.3%、普通を合わせると92.3%であり、問題のない報告と考えてあります。

6ページをご覧ください。最終便の出発時刻であります。最終便の出発時刻は平成20年度が14:30、平成21年度が15:40、平成22・23年度が16:00と、それぞれ延長してきてあります。大変良い・良いを合わせて47.1%と、昨年より5.9ポイント上昇してあります。普通まで合わせると74.6%ですが、変更が必要かどうか、見極めが難しい部分であると思ひます。最終便の時刻設定については、皆様のご意見をいただきたいと思ひます。

次に資料7ページ以降ですが、運行間隔の報告では、大変良い・良いで60%以上、普通も含めるといずれも90%前後であります。変更については、見送りたいと考えてあります。

13ページをお開きください。ここから15ページまでは具体的な要望や感想を記載してございます。運行日については、土日祝日の運行を望む声が25件寄せられています。14ページをご覧ください。運行時間については、最終時刻を延長する声が8件ほど寄せられています。

以上で利用者アンケートの結果についての説明を終わります。

次に未使用者アンケートの結果について報告しますので、資料2-2をご覧ください。

この調査は、平成23年11月末時点で、乗合タクシーに利用登録をしていて、平成23年度に入ってから一度も利用をしていない53歳から96歳の方200人に対して、利用しない理由をお聞きしたものであります。調査は12月8日から12月22日までの間に郵送で回収し、回収率は64%でした。

2ページをご覧ください。ここでは回答者の属性を集計してあります。

3ページをご覧ください。乗合タクシーを利用しない理由についての問いで、複数回答可でお聞きしてあります。利用しない理由は、家族等に送迎してもらおうが22.3%、自分で運転するが21%です。日常の足が確保されているため利用しないことが、アンケートから明らかになります。

利用予定はないが登録したという方が14.2%いらっしゃいました。また、利用方法が

わからないが2.1%、不安3%、時間帯が悪く合わないが9.9%でした。中身についてどうして時間が合わないのか、来年度にもう一度調査する必要があると思います。

4ページをご覧ください。4ページから6ページは自由筆記の意見をまとめてあります。

4ページの意見では、乗合タクシーへの要望や感じている点で、料金や運行時間に関するものが多くなっています。

5ページをご覧ください。将来の乗合タクシー利用についての質問に対し、128人の回答者のうち26名の方が、今は自分で運転するが将来は必要という意見を記入いただいております。回答者の1/5がこのように記入しているのは高い率ではないかと思っております。

以上、未利用者アンケートの結果について報告致しました。

続きまして、第8回地域公共交通検討委員会の審議結果について説明しますので、資料1をご覧ください。

1月17日に13名の委員の皆様にご出席いただき、第8回目の検討委員会を開催しました。先ほどのアンケート結果を説明し、平成24年度の運行計画についてご審議いただきました。アンケートにもある、土日・祝日の運行及び最終便の時間延長の希望について検討委員会で協議いただきました。利用者の声を100%反映させることは難しい、アンケートの満足度がどの項目でも概ね高かった、利用者が対前年比108%と増加している、病院・銀行等が目的地の上位であるが土日・祝日は営業していない、現在の運行時刻表が定着している等の意見が出され、平成24年度の運行計画は、全会一致で平成23年度と同じとすることで決定致しました。

以上で、乗合タクシーの実証運行状況の報告を終わります。

(事務局)

次に、ナイトシャトルバス事業の実証運行状況につきまして、担当委員から説明をお願いします。

(篠崎委員)

観光局の篠崎でございます。それでは事前に配布しました資料(参考資料)、ナイトシャトルの12月・1月の運行実績を表示しているものをご覧ください。

現在、12月から1月の月ごとに数字をまとめてございます。12月が1075名、1月が5061名の乗車人員がありました。この数字を過去と比べてみた時に、対前年比で1000人程度減っており、率でいうと14~15%の減少という数字になっております。ただ、村内で外国人を泊めていただいている宿等に聞き取りしますと、プラスに転じたところもあれば、かなり減ったというところもあります。押し並べていうと、だいたい3割くらい減っている中で、元気号に関していえば15%減で収まっている、そういう意味ではかなり定着してきているのかなという分析はしております。

2月は数字が入っておりませんが、2月14日現在では2068名の利用があったと報告を受けております。外国人の方々は、12月から2月をピークに、だんだん減っていくという傾向にありますので、いずれにしろ対前年比では厳しい状況になるだろうということが予想されます。

本来ですと、外国人・日本人の利用割合とか回数券の利用状況までお示しできればいいのですが、現在はそこまで把握できておりませんので、本日は1月までの利用実績のみの報告

ということで説明に代えさせていただきます。ナイトシャトル関係は以上でございます。

(事務局)

ただいま説明が終わりましたが、ご質問等につきましては、このあとの協議事項の中で、一括でお受けしたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

4. 協議事項

(事務局)

それでは、協議事項に移ります。これからの進行につきましては、要綱に基づきまして、太田会長よりお願いいたします。

(会長)

それでは、次第にもとづきまして、議事を進めさせていただきます。

(1)「平成 24 年度乗合タクシー運行計画(案)」と、関連がございますので、(2)道路運送法第 9 条第 4 項及び同法施行規則第 9 条第 2 項に掲げる協議が調っていることの証明書(案)につきまして、委員の説明を求めます。

(倉科委員)

私の方から、乗合タクシーの運行計画案について説明させていただきます。資料は 3-1、3-2 になります。

資料 3-1 は、乗合タクシー(デマンド型)運行計画(案)、資料 3-2 は乗合タクシー(保育園児送迎)運行計画(案)ということでございます。この運行計画案については、平成 23 年度と変更点がございません。従って説明は省略させていただきます。

(事務局)

それでは続きまして、2 点目の協議事項であります、道路運送法第 9 条第 4 項及び同法施行規則第 9 条第 2 項に掲げる協議が調っていることの証明書(案)ということで、資料 4 をご覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、只今倉科委員から説明がございました、デマンド型乗合タクシーの運行内容、料金、保育園児の送迎、これらに係るもので、先ほど説明のあったとおりでございます。この議題の内容を踏まえまして、最終的にお認めいただければ、公共交通会議会長名で証明書を発行して、陸運支局さんへの届け出書類として使用したいと考えておりますので、合わせてご審議をお願いします。

(会長)

ただいま、協議事項の(1)及び(2)について説明がございましたが、ここでご質問を受けたいと思えます。先ほどの報告事項の内容でも結構ですので、何かご質問等ありますでしょうか。

—なし—

(会長)

それではここで(1)「平成 24 年度乗合タクシー運行計画(案)」と、(2)道路運送法第 9 条第 4 項及び同法施行規則第 9 条第 2 項に掲げる協議が調っていることの証明書(案)につきまして決を取りたいと思えます。賛成の方の挙手をお願いします。

—挙手全員—

ありがとうございます。協議事項の（１）及び（２）については承認されました。
続きまして、協議事項の（３）その他に入りたいと思います。事務局の方で何かありますか。

（倉科委員）

デマンドタクシー事業は、本年度まで国庫補助金を受けて運行しておりました。平成24年度からは補助金がなくなっても白馬村の単独費を使って引き続き運行していくということで、3月村議会にも提案していく予定でおります。ちなみに、平成24年度の運行経費は1340万円弱を見込んでおまして、端的に言うと全て村の税金を充てていくということでございます。以上です。

（横川委員）

観光農政課の横川でございます。ナイトシャトルバスの関係につきまして説明させていただきます。来年度以降についてであります。観光交通システム部会でも運行についてのご意見を出していただくように期限を区切ってお願ひしておたわけではあります。意見は特に出てこなかったということで、部会については開いていないという状況でございます。来年度以降のシャトルバスの運行につきましては、村の考えとしましては国庫補助のあるなしに関わらず、一定の負担をしていくということ、また受益者負担や新たな補助事業の検討も含めて、交通部会で協議していきたいと考えております。よろしくお願ひ致します。

（会長）

ただ今、公共交通に関する村の平成24年度の方針について説明がありました。デマンドタクシーは村の負担で運営していくということ、またシャトルバスについては村の負担と受益者負担で今後運営を続けたいという説明でありましたが、これに関して皆様のご意見を伺いたいと思います。今回の会議が実証運行最終年の会議となりますので、県の担当の方から何かございましたらお願ひしたいと思います。

（長野県交通政策課）

補助事業につきましては、運輸支局さんの所管になりますので、新しい制度上で認められれば、利用促進も含めてご検討いただければと思います。

（北陸信越運輸局長野運輸支局）

いつもお世話になっております。補助事業につきましては前回会議でもお話があったと思いますが、デマンドに係る部分につきましては、活性化・再生総合事業からの継続ということで、新しい事業で対象となる可能性があると考えておりますが、ナイトシャトルについては対象外となってしまうとの見解であります。私どもも持ち帰って本省とも確認しながら、進めたいと思いますが、現状では良い回答ができなくて申し訳わけありません。よろしくお願ひします。

（会長）

今後とも良い事業とありましたらご指導をお願ひしたいと思います。

本日協議いただく事項は以上ですが、その他で何かございますでしょうか。

（事務局）

特にございません。

（会長）

以上で、本日の議事は終了となります。進行を事務局に戻します。ご協力ありがとうございます。

ました。

5. その他

(事務局)

一点私の方からお願いを申し上げます。本日お集まりの委員の皆様は、一旦この3月で2年の任期が満了となりますが、この公共交通会議は実証運行終了後も継続して協議をお願いしていかなければなりませんので、引き続き皆様のご協力をお願いしたいと思います。

その他の事項につきましては以上でございます。

6. 閉会

(事務局)

それでは閉会のことばを、風間副会長より申し上げます。

(風間副会長)

短時間で慎重審議いただきありがとうございました。また、3年間の実証運行期間中、皆様から本当に熱心にご協議いただきありがとうございました。今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

以上で第12回白馬村地域公共交通会議を閉会とします。ご苦勞様でした。